

令和11年度までに 榛南水道と大井川広域水道を統合します

水道用水供給事業である静岡県企業局榛南水道（供給先：本市、御前崎市）の老朽化に伴い、将来にわたり安定的に用水を供給し、水道供給事業の費用を削減するために、榛南水道と大井川広域水道を統合し、榛南水道を廃止します。

問い合わせ 水道課 大石 ☎230081

統合の概要

牧之原市上水道において、令和11年度までに、榛南水道と大井川広域水道を統合し、榛南水道を廃止する予定です。

統合の主な整備内容

①大井川右岸送水管牧之原線（大井川広域水道）から新一の谷

配水池（本市の施設）まで延長約11km、および②牧之原市菅ヶ谷分岐（大井川広域水道）から牧之原市波津分岐（榛南水道）まで延長約8kmの2力所の連結管整備を行います。

また、配水池へ送水するために必要な調整池などを整備します。なお、統合に伴い不要となった管路はモルタル（建築材料）を注入する充填処理などで廃止します。



統合後の牧之原市上水道の1日当たりの水量

現行			R11 統合後		
大井川広域水道	榛南水道	計	大井川広域水道	榛南水道	計
9,000m³	19,500m³	28,500m³	19,200m³	(廃止)	19,200m³

*統合に伴い、必要とする水量の見直しを行います。

今後のスケジュール（予定） *状況により変更となる可能性があります。

年度	内容
令和6年度	・連結管の設計、工事 ・調整池などの用地取得
令和7年度～10年度	・連結管などの工事 ・調整池などの建造工事
令和11年4月	榛南水道を統合 (大井川広域水道から供給開始)
令和11年度以降	榛南水道施設の撤去



市内での配水管工事の様子

市の給水区域

市内の上水道は5事業団体によって給水されています。

- ① 牧之原市上水道
- ② 吉田町上水道
- ③ 大井上水道
- ④ 菊川市上水道
- ⑤ 御前崎市上水道

このうち、牧之原市上水道では、大井川流域7市（本市、菊川市、御前崎市、掛川市、島田市、藤枝市、焼津市）に供給される「大井

川広域水道」と、榛南2市（本市、御前崎市）に供給される「榛南水道」の両方から取水をしています。

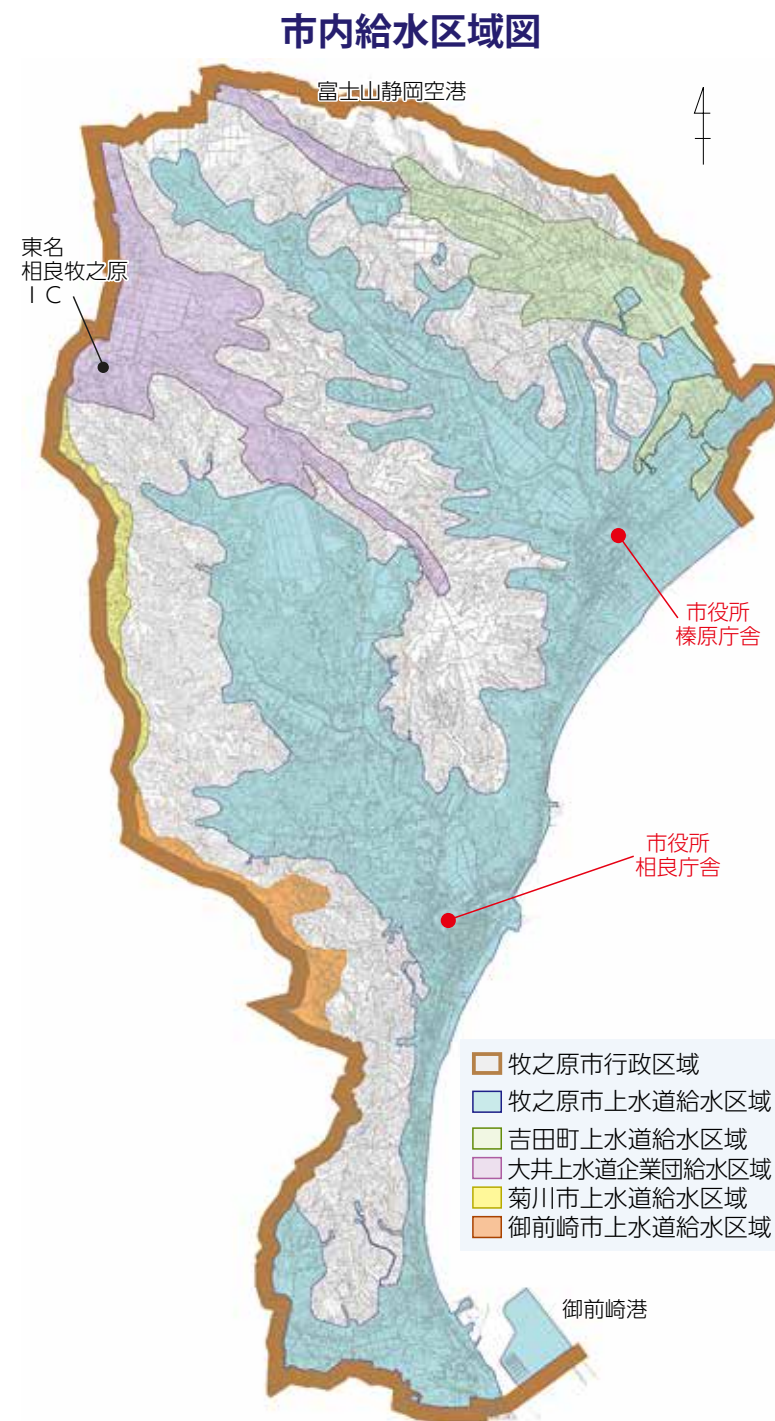
水道施設の統合の必要性

榛南水道は、昭和44年に事業を開始し、本市および御前崎市に用水を供給していますが、事業開始から50余年を過ぎ、施設の老朽化などが課題となっています。

榛南水道の更新費用は、本市が購入する受水費に反映され、牧之

原市上水道に影響を与えます。榛南水道の施設をそのまま全面更新する場合の事業費は約260億円であるのに対して、大井川広域水道に統合した場合の事業費は約104億円であり、統合により約156億円のコスト削減が見込まれます。

また、給水人口の減少や省エネルギーの観点から水の需要が大きく減少している中、水資源の合理的な利用にもつながります。



- 牧之原市行政区域
- 牧之原市上水道給水区域
- 吉田町上水道給水区域
- 大井上水道企業団給水区域
- 菊川市上水道給水区域
- 御前崎市上水道給水区域

御前崎港

山梨県甲州市に行ってみよう！

市と山梨県甲州市は9月、観光交流協定を締結しました。甲州市の特産物や場所を紹介します。
問い合わせ 観光課 宇津野 ☎52623

本市と甲州市のつながり

本市と甲州市は、それぞれ旧市町の時代から、海水浴場利用の助成やイベント出店時の特産物販売などを行っており、市民相互の友好を深めてきました。また、令和2年にコロナ禍で農産物の販売が低迷した際には観光協会やまきのほら活性化センターを通じてお互いの特産品の買い支え交流を行い、令和3年に本市で発生した竜巻災害時には、市内の被災者全戸102戸に対し甲州市から見舞いと早期復旧を願い、サクランボが贈られました。これらから、中部横断自動車道開通による交通の便が向上したことにより、「人とモノ」の相互交流をさらに強化していくことが、今後の両市が発展すると考え、協定締結となりました。



協定書を手にする鈴木幹夫（左）と杉本市長（右）
（9月7日「サイボ」にて）

甲州市ってどんなところ？

甲府盆地の北東部に位置する甲州市は、平成17年11月に塩山市、勝沼町、大和村の3市町村が合併して誕生しました。
本市からは中部横断自動車道を利用し、車で約2時間30分で行くことが可能です。



- ◆人口 29,209人（令和6年9月1日現在）
- ◆面積 264.11km²
- ◆産業 果樹栽培、観光農園、ワイン醸造



甲州市
ホームページ

甲州市の観光について

◆農産物

ブドウ、モモ、サクランボ、干し柿 など

豊かな自然と恵まれた気候・風土を生かし、古くから果樹栽培が盛んに行われていた甲州市。旬の味をその場で楽しめるフルーツ狩りや「ころ柿」（干し柿）の手作り体験のイベントがあります。



◆観光名所

恵林寺、勝沼ぶどうの丘、大日影トンネル、ワイナリー（45カ所） など

◆イベント

かつめまぶどうまつり（10月）、およっちょい祭り（10月）、新酒ワインまつり（11月） など

武田信玄の菩提寺である「恵林寺」をはじめ、武田家と縁の深い社寺仏閣が数多く存在する武田家の聖地です。また、国内有数のワイン産地でもあり、ぶどう畑がつくる美しい景観の中にワイナリーが点在しています。



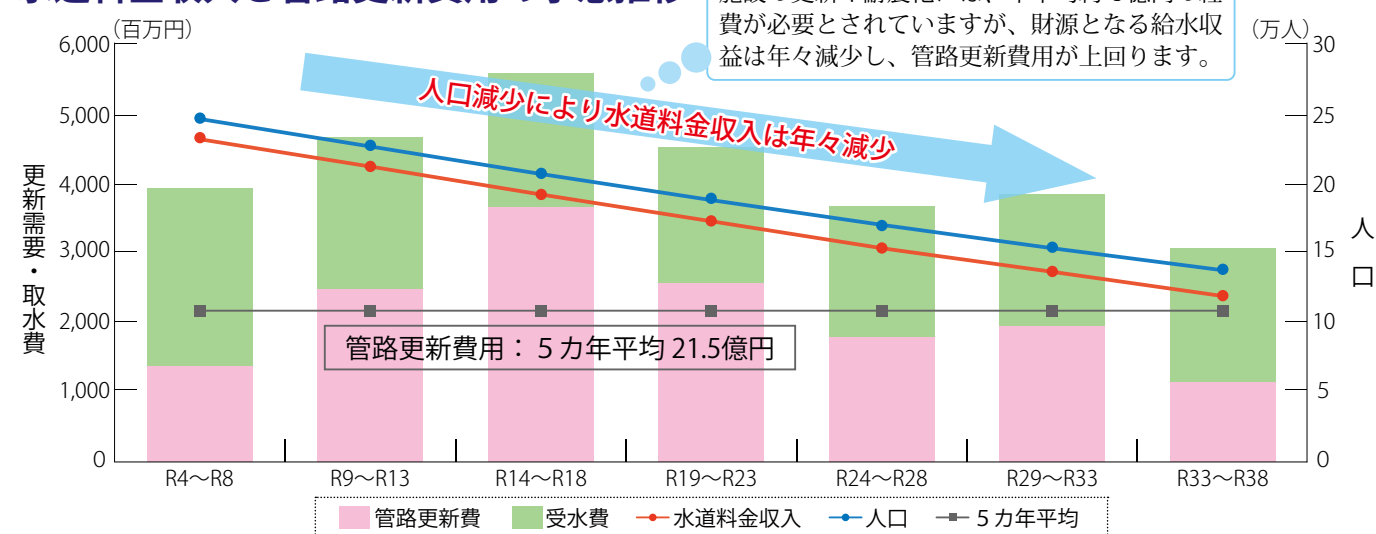
上水道の安定供給と財源確保の課題

市民生活に直結する重要なインフラである上水道は、水道料金収入をもって経営を行う独立採算制を基本としており、水道料金で水道施設の更新や耐震化を進めています。
大規模災害において、市民の生活を守り、水使用における不便、不安が生じないように安定した供給を行うためには、水道施設主体を更新し、継続的に耐震化を行うことで被害を未然に防ぐことが重要です。
しかし、人口減少に伴い、水道料金の給水収益が年々減少し、管路更新には一定の経費がかかり、経営は大変厳しいものとなっています。また、物価高騰に伴う費用増加、今後計画される大井川広域水道の施設の更新や受水費（榛南水道・大井川広域水道から購入する値段）など、財源の確保は避けて通れない課題であり、健全な経営に努めていきます。



能登半島地震時の市の支援活動

水道料金収入と管路更新費用の予想推移



漏水を発見したら

市では、上水道の安定供給のために、道路内の水道管の更新や耐震化を進めていますが、万が一、道路内での漏水を発見した場合には、水道課まで連絡をお願いします。
なお、敷地内での漏水は、水道メーター（量水器）の前後に関わらず、水道利用者のご負担となります。その場合には、お近くの市指定の水道工事店まで直接お問い合わせください。

給水装置設置のイメージ

